

第4学年4組 道徳学習指導案

平成20年7月2日(水)第2限 4年4組教室 指導者 岩見 陽

1 主 題 いじめと命について考える (5時間完了 本時2/5)

資 料 「わたしのいもうと」 出典 偕成社 3-2 生命の尊重

(1) 構 想

人は生まれた時から人を愛したい、愛されたい、人のために尽くしたい、やさしくなりたいなどの性質を持っている。反対に、人をいじめる、妬む、憎むという性質もある。つまり、だれでも両面のいのちを持ち合わせている。子どもの社会に目を向ければ、家庭と学校は子どもの心に鋭く影響をもたらす場でもあり、社会問題となっているいじめによる自殺、虐待などで子どもたちが一瞬にして命を失う悲しい出来事が絶えない。自分がなぜ生まれてきたのかさえ考える間もなく、幼くして旅立つことに無念さを感じる。このような他者の心の「ゆらぎ」について知ることは他者との関係性の中で生きていかなければならない私たちにとって大切なことだと思う。そこで本単元で取り扱う「ゆらぎ」が、いじめである。被害者や加害者から距離をおき、いじめを他人事ですませるのか、被害者の痛みを感じ取り、解決に向けて共に行動するのは子どもたちにとって選択に苦しむ大きな課題である。いじめの当事者たちの心のゆらぎは、傍観していた第三者の立場から当事者となり共に解決の道をたどる中で、それぞれの命は輝きを増すと考えた。本単元では、いじめに関わるアニメや絵本やその他の具体的な資料を用い、いじめと命について考えることを通して心情を高め、ゆらぎを解決する道徳的判断力や実践力を養っていきたい。

先日、4年4組で、友だちについてのアンケートを行った。結果、「友達からいやなことを言われたり、されたりしたことがありますか?」の問いに対し、「ある」と答えた者が39人中10人いた。具体的には、「悪口を言われた」「蹴られた」「服をつかまれた」「友達をとられた」が出た。また、「友達がいやなことを言われたり、されたりしたのを見たことがありますか?」の問いに対しては、「見た」と答えた者が12人いた。クラスの3分の1もの児童がいやがらせ(いじめ)というものに関わった機会を持っている。本テーマがいかに子どもたちにとって身近な題材であるかがわかった。一方、3分の2の児童にはピンとこないテーマであるということも考えられる。イメージが先行し、実際にいじめに会った当事者の心情や具体的な解決方法についてはよくわかっていないのが現状であり、そういった意味でも取り扱うのに意義のある主題であると確信した。

本単元では、初めに「いじめ」という言葉から何を思い浮かべるか、考えた。何も思い浮かばない児童は0人で、「悪口、暴力、軽蔑、無視、物を傷つける、強要、仲間外れ、いじめられた人を見捨てる、一人ぼっち、二人以上で一人に嫌なことをする、不登校など」日常生活から学んだと思われる具体的な意見がたくさん出た。本やドラマやニュースなどから子どもたちは様々な情報を入手して知り、また被害の軽重はあるにせよ、極身近な学校生活の中で体験、傍観してある程度理解しているようである。その後、具体的ないじめ場面が出てくるアニメビデオ「負けるな、千太!」を視聴する。気弱な千太は1学期にクラスのいじわるの三人組から悪口を言われたり不快な物を見せられたりしていじめに会う。家族が心配する中、夏休みに他の学校の友達やある女性に出会い、自らの性格を変えていく。そして登校日、三人組に勇気を出して悲痛な思いを叫び、いじめを克服するという物語である。この胸を打つ教材を見て、子どもたちはいじめの酷さを知り、道徳的心情を高めていくであろう。また、友情、家族愛といった周囲の支えの大切さを覚えたり、いじめを生む可能性は誰の心の中にも存在したりすることがわかるであろう。次時には、絵本「わたしのいもうと」を読み聞かせ、いじめに会って死を迎えた主人公の状

況について様々な視点から考え、話し合う機会を持つ。いじめられる側の心情に迫り、いじめは時に人の命をも奪うことを知り、生命を尊重する道徳的な価値を身に付けるであろう。第3時には、いじめ場面資料「なんとかしたい」を読み、主人公に対して自分ならどういった行動を取ることができるか意見交換する場を設け、道徳的実践力を身に付けさせたい。問題解決への行動を起こしていく第一歩となるような学び合いになることを願う。本単元の終末には、各々がふりかえりシートへ記入することで、今までの生活を振り返る機会とし、単元を通して身に付けてきた価値の定着を図れればと思っている。

(2) 計画

学習課題	学習内容	時間	備考
いじめ場面のアニメを見て、いじめについて知ろう	・ 学習前の「いじめ」のイメージ ・ いじめビデオの鑑賞と感想	1	アニメビデオ「負けるな、千太!」
主人公いもうとがしたことを読みながら、いじめと命について考えよう	・ 絵本「わたしのいもうと」の読み聞かせ ・ 主人公についてどう思うか話し合いと感想	1 (本時)	絵本「わたしのいもうと」偕成社
いじめを見た時、どのように行動したらいいか話し合おう	・ 仮想的ないじめ場面の資料読み ・ 問題解決のための話し合いと感想	2	「いのちを考える授業プラン 48」小学館(学級活動)
今の自分の生活をふりかえろう	・ 学習後の「いじめ」のイメージ ・ 友だちについてのアンケート ・ 学習のふりかえり	1	友だちアンケート ふりかえりシート (学級活動)

2 本時の学習指導

(1) 目標

いじめを受けて生きる力(命)を失った主人公の状況について考えることを通して、人を大切に作る気持ちを育てることができる。

(2) 準備

児童：ア筆記用具

教師：ア絵本「わたしのいもうと」 イ資料(児童配布用) ウ学習課題短冊 エ発問用短冊(黒板貼付用) オ場面絵と顔の絵(黒板貼付用) カ手紙拡大用紙 キ座席表

段階	子供の活動	教師の活動
導入 4分	1 いじめられた時の気持ちを発表する。 ・ 悲しい。 ・ いやな気持ち。 ・ くやしい。 ・ 怒れる。	・ 前時で児童が書きたいじめという言葉のイメージを数個紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">このようないやがらせをされると、どんな気持ちになりますか？</div> ・ 数名指名する。
問題 1分	2 学習課題を知る。	・ 絵本を見せ、題名を板書する。 ・ 学習課題短冊を黒板に貼る。
究明 25分	<div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;">いもうとがしたことを読みながら、いじめと命について考えよう。</div> 3 いもうとの様子や行動について考え、発表する。	・ 資料前半(体に痣があるのがわかる場面まで)を印刷した用紙を配る。

	<p><発問 >考えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しそう。わくわくしていると思う。 ・ 明るい子。友だちがたくさんできそう。 ・ 勉強を楽しみにしている。少し不安も。 <p><発問 > 考えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かわいそう。言葉が違ってどうしていけないのか。方言は仕方ない。 ・ 誰でも初めはできることが少ないのに、それを責めるのはかわいそう。 ・ 名前があるのに変なあだ名はよくない。 ・ はっきりいやだと言えればいいのに、気が弱いと思う。いじめられても仕方ない。 ・ 先生や家族に悩みを話すと良かったと思う。 ・ いじめた人はやめてあやまるべき。 ・ 見ている人もいじめていると同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主人公が転校してきた場面まで読む。 ・ 挿絵 を黒板に貼る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 新しい町に来てきてはしゃいだりふざけたりしている妹はどんな子だと思いますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を板書し、名札磁石を貼る。 ・ 同じ意見の場合は赤チョークで傍線を引く。 ・ 主人公の明るい性格や期待感を押さえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体に痣があるのがわかる場面まで読む。 ・ 挿絵 を黒板に貼る。 ・ いろいろないじめの内容について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 いろいろないじめに会った妹のことをどう思いますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妹のことだけでなく、教室の他の子や母親や姉や先生などのことが意見にあがった場合 ()についても板書する。板書は【妹】【周りの人】で上下に分けて、見やすくする。
<p>発展 10分</p>	<p><発問 >考えを用紙に書いて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒に遊んでもらいたかった。 ・ 友だちに助けてもらいたかった。 ・ 先生に注意してもらいたかった。 ・ いじめた人に誤ってもらいたかった。 ・ 誰かに悩みを聞いてもらいたかった。 <p>4 話の続きを聞く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 いじめられている時、妹はどうしてももらいたかったと思いますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを資料用紙に書きこませる。 ・ 意見を板書する。 ・ 出た意見に合わせて顔の絵(友だち、先生、家族、いじめっ子)を貼る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話の続きを挿絵を使いながら読み聞かせる。
<p>整理 5分</p>	<p>5 本時の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妹はもっと生きたかったと思う。人生をうばわれてかわいそう。私はいじめを見つけたら、みんなで協力して助けてあげるのがいいと思う。いじめている子にゆう気を出して注意できるようになりたいし、ひとりぼっちの子かいないように声をかけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いもうとの手紙の拡大用紙を貼る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いじめられると、お話のように悲しい結果になることがあります。今日の授業の感想を書きましょう。</p> </div>

(4) 評価

- ・ 様々な視点からいじめについて考えを持ち、人を大切にできる気持ちを育てることができたか。活動3の発言内容、活動4の感想用紙から

(5) 板書計画

<p>ヨ</p> <p>ス C ノ</p> <p>ヒヤソモ</p> <p>メ C ノレ</p>	<p>ソモ</p> <p>ソ C ヤ</p> <p>チメ</p> <p>ソレ C ノレ</p> <p>A ソ</p>		<p>5 Y & テ</p> <p>q レレ ユ</p> <p>v ハ</p>	<p>ソソ</p> <p>ソモ</p> <p>ソレ</p> <p>ソ</p> <p>チ A ソ</p> <p>ヤ 9</p>	<p>& ラ</p> <p>ネレ 5 Y</p> <p>ウハメ</p> <p>ハ C ヤ</p> <p>ロワヌヤヒ</p> <p>ネリチ</p> <p>ヒメ</p> <p>ースニ</p>	<p>ツメソク</p> <p>ハソロ C ヤ</p> <p>ムフレ</p> <p>メソ</p> <p>ソヤ 9</p>	<p>ソチ</p> <p>ヌメレホ</p> <p>ソ(テ C</p> <p>ヌ C ヅモ</p>
---	--	--	---	--	---	---	--

(6) 資料

レメソチ / 1 6 ・ n g y \$ & & ラ \$

ホ 6 レメソチ ソハ ソヤ

ホチ ソレ メネソ ハロミソ

ソチ テレメレワ ホ!ク ムホメ ネメレ

ソニ ヨ ユ ムフレ ヌヨソロ , L f :

レメヌソチ ハ G セ!「メレ

フ ホチメレ G ハ スナリメソソモヌモメレ

ホ ヌナニメソ ホヌネソソモ

「¥, モミメメ ハミソレソ

L ムユ ネレソ6 E ヨソ ソチヌラチ&リハハ

チフルユハ ソソチセ

チチロ ネソハハメレ

ヤレワ レヤレワ テリハ ムユレネソチ

レユワ メレ

ヌソチ G ハソニハメレ

マレユ ネニユソチ ロリュホニ

ナソ&ヨミ サチヤ

リネソチニロ。レスムヌレハミス

ヌヒユレヤ

L & ムレテ